

ふ
し
み

健やか伏見

2023年 第120号

伏見健康友の会／伏見区竹田田中宮町98番地 京都城南診療所内 TEL 623-1110

謹賀新年



洲本温泉日帰り旅行へ行きました。

12月10日(日)4年ぶりの友の会旅行です。51名の方が参加！
今年もこのような交流できる行事を増やしていきたいですね。

今号の紙面

3頁

友の会月間 お知らせ
新春クロスワードパズル

2頁

新春のごあいさつ

4頁

てくてく散策シリーズ

伏見健康友の会幹事会は、
2024年2月4日の京都市長選挙
において、福山和人さんの
推薦決議を上げました。

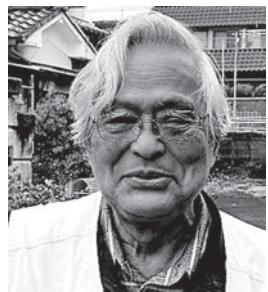
暮らしやすい京都市へ、紹介
ビラを入れていますので、
ぜひお読みください。

新春のご挨拶

新年おめでとうございます。
2024年を迎えて、今年はどんな年になるのでしょうか
2023年の友の会拡大強化月間では、たくさんの皆さんにご協力を
いただき、仲間ふやし目標70名を超過達成し、75名の仲間を増や
すことが出来ました。ありがとうございました。伏見健康友の会
が産声をあげたときからみると、見ちがえるほど会員数になりました。今は1200人を超えて、次は1300人台へ、将来は2000人台へ、伏
見区の人口からして1万人も夢ではありません。

最近の私は、奥さんの介護に明け暮れています。物忘れがひど
くなつていて、散歩に一人で出ると、帰り道をわすれしまい、パ
トカーで帰つてくることがあります。何があつても明るく生きて
いくことにしていますが、物価が上がり生活もやりくりに大変で
す。社会保障の充実や年金を引き上げるようにしてほしいと思つ
ています。

友の会幹事会は、京都市長選挙において福山和人さんに推薦決
議をあげました。敬老乗車証制度を元に戻すことを始め、安心し
て年をとることができる京都市へ市政が変わることのチャンスです。が
んばりましょう。



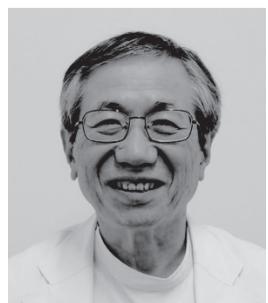
会長
平本 克行

新年おめでとうございます。
2024年を迎え、今年はどんな年になるのでしょうか
2023年の友の会拡大強化月間では、たくさんの皆さんにご協力を
いただき、仲間ふやし目標70名を超過達成し、75名の仲間を増や
すことが出来ました。ありがとうございました。伏見健康友の会
が産声をあげたときからみると、見ちがえるほど会員数になりました。今は1200人を超えて、次は1300人台へ、将来は2000人台へ、伏
見区の人口からして1万人も夢ではありません。

最近の私は、奥さんの介護に明け暮れています。物忘れがひど
くなつていて、散歩に一人で出ると、帰り道をわすれしまい、パ
トカーで帰つてくることがあります。何があつても明るく生きて
いくことにしていますが、物価が上がり生活もやりくりに大変で
す。社会保障の充実や年金を引き上げるようにしてほしいと思つ
ています。

この情勢の下、また少子高齢化により中小零細診療所の新規人
材獲得は困難な中、今年は、新しい京都城南診療所の長期計画を
立案します。民医連の特徴である民主的地域医療と民主的チーム
医療の二つをなしごげるためには、全職員の知恵と団結が不可欠
ですので、従来にも増して職員の成長を前進させ、心理的安全性
を育み、働いてよかつた診療所にすることに力を注ぎたいと思いま
す。そしてそれを支える経営方針をもち、みんなで実践したい
のです。

今年も引き続き、伏見健康友の会の支援をいただけますよう
お願い申し上げます。



京都城南診療所所長
津島 久孝

友の会拡大強化月間

2023
10.
1
5
2024
12.
15.

目標70名を超過達成！
新たに75名の会員さんを迎えたのが
できました。

2023年度の月間は、次々とサークルが再開されたこと、友の会事務所を月・水・金に開けて、新しいサークルが活動するようになったことで、会員さん同士の交流の機会が増えたことが大きくなっています。そして、診療所から外へ出かけて『まちかど健康チェック』を再開することもできました。また、診療所職員も外来などで、友の会にはインフルエンザ予防接種費の補助や大腸がん検診、友の会健診など会員さんの健康管理に役立つ制度があることを知らせ、積極的に友の会入会を呼びかけました。現在の友の会の会員数は1259名です。まだまだ友の会を知らせ、大きくしていきましょう。

ボーリング大会します！

日 時 ..
2024 年 4 月 18 日 (日)

2021年4月18日(日)
午前10時スタート 2ゲーム

9:45分現地（ラウンドワン伏見店）

場所…ラウンドワン伏見店
参加費…1500円（ゲーム代・靴代）

2/3までに友の会事務局
までお申し込み下さい。



心よりご冥福を
お祈りいたします。

から会の発展に
ご尽力をいただき
ました。

友の会副会長の
笹井憲二さんが
2023年10月、逝去
されました。

計報

クロスワードパズル

クロスワードを解いて、2重枠の文字を繋げるとお正月にちなんだ言葉になります。答えは友の会宛の葉書で送ってください。素敵なプレゼントが抽選で当たります。当選発表は発送をもってかえさせていただきます。余白に友の会への意見や、日々の出来事など書いてください。

1月7日の朝ご飯は、おかゆにこれを入れます。伏見のお酒は女酒といわれるまるやかな味わいですが、灘のお酒はやや酸味が強いです。からすみは、この魚の卵巣を塩漬けにして乾燥させたもの。

オリンピックのメダルの色は、この色がいいですね。でも、選手の皆さんには重荷にはならないでください。日本の古典音楽の一つです。「ネス」の無形文化遺産です。

縦の力ギ

A crossword grid with numbered entries:

- 1 (1 letter)
- 2 (1 letter)
- 3 (1 letter)
- 4 (1 letter)
- 5 (1 letter)
- 6 (1 letter)
- 7 (1 letter)
- 8 (1 letter)
- 9 (1 letter)
- 10 (1 letter)
- 11 (1 letter)
- 12 (1 letter)
- 13 (1 letter)
- 14 (1 letter)
- 15 (1 letter)
- 16 (1 letter)
- 17 (1 letter)

The grid shows several filled (dark grey) and empty (white) squares. Some squares are highlighted with a black border, indicating they are part of the solution.

作:元岡 洋子(技術課放射線グループ)

横の力ギ

- 1 初春のご挨拶に、目上の方に用いる四字熟語。
 - 5 お寿司に添えてあるしうがの調味酢漬けは
 - 6 広島県東広島市にある道の駅「湖畔の里 ○○○○」国道375号線に面し、人造湖に周囲を囲まれ景観に恵まれています。
 - 9 道案内をしてくれます。
 - 10 核燃料が核分裂すると複数の新しい中性子が飛び出し、次の核分裂を起こします。連続的に核分裂が続いていくことを核分裂の連鎖反応と言います。連鎖反応は自発的に持続している状態です。
 - 12 歌舞伎の舞台や花道の床下にあるスペースです。
 - 13 物を収めておく建物です。「天平の甍(てんぴようのいらか)」「しろばんば」の著者・井上靖が幼少期に暮らしていました。
 - 14 建築物の固定や目印の為に地中に埋め込む棒状のものです。
 - 16 蘿を作る蚕が幼虫の時に食べる葉です。
 - 17 葉が三葉のミカン科植物です。温州ミカンを栽培するとき土台として使われています。

天龍寺(世界遺産)と嵯峨野散策

※この連載でご案内する「散策プラン」に基づいて今後散策します。次回は春に再開、4月7日（日）を予定しています。詳細は次回のたよりでご案内します。



散策コース スタート JR嵯峨嵐山駅→（徒歩7分）→渡月橋→（同5分）→天龍寺（拝観）→（同5分）→竹林の森→（同10分）→野宮神社→（同6分）→落柿舎→（同5分）→常寂光寺→（同20分）→ゴール JR嵯峨嵐山駅
所要時間 約1時間10分 ※拝観料 800円（庭園のみ500円）



天龍寺は、1339年（暦応2）に足利尊氏（たかうじ）が後醍醐天皇の菩提を弔うために創建したものです。境内には、当時のままの姿を残されていますが、嵐山と亀山の二山を借景にした池泉回遊式（せんかいゆうしき）が曹源池庭園です。この庭は、鎌倉時代の臨済宗僧侶・夢窓疎石（むそうそせき）が、手がけたもので、国の史跡・特別名勝第一号に指定されるほど京都屈指の名園です。



渡月橋は、嵐山の景観を代表する橋です。鎌倉時代初期、亀山上皇が「曇りのない夜空に月がまるで橋を渡っているようだ」と詠ったことから渡月橋と名づけられました。じつは一時期、法輪寺が自費で橋を造ったことから「法輪寺橋」と呼ばされました。しかし、完成したものの橋は、有料で利用者からは「銭とり橋」と異名がつき、無料となりました。

嵯峨野には、多くの観光名所がありますが、最近、人気を博しているのは、「竹林の道」です。天龍寺から野宮神社まで約300メートル続く竹のトンネル道は、映画やテレビなどにも放映され撮影スポットとなっています。



古来より紅葉の名所として知られる常寂光寺は、小倉山中腹にある日蓮宗の寺院です。一時期、鎌倉事態の歌人藤原定家の山荘がありました。定家と言えば「小倉百人一首」（カルタ）など歌集を56年わたり山荘（常寂光寺）で書きあげました。その代表作が『明月記』と呼ばれ、日本の歴史を知る上で貴重な書物です。

（文書 中川正照）

「なるほど!!」「へえ～」と参加者が感心する案内や説明をしていただいている



第2回目のてくてく散策を11月12日に宇治平等院を中心に散策しました。前回に続き、今回も友の会会員さんで伏見を中心に歴史を研究されておられる中川正照さんから、「教科書では＊＊と習いましたが、この建物は、歴史の流れや庶民の側から見れば、実は＊＊＊ということです」となるほど誰もが感心する、わかりやすく説明され大変好評です。